

伊豆半島ジオパーク基本計画・行動計画（改定案）に関する意見募集の結果及び意見に対する協議会の考え方について

令和3年7月5日 伊豆半島ジオパーク推進協議会

1, 意見募集の方法と結果について

募集期間	令和3年5月25日（火）から令和3年6月15日（火）
資料公開場所	伊豆半島ジオパーク推進協議会ホームページ
意見提出件数	9件
意見項目数	19項目

番号	計画案該当ページ	いただいたご意見・ご提案	基本計画等への反映等についての考え方
1	1) 23 ページ 本文	北伊豆地震の発生年は1930年です。	・1930年（昭和5年）に修正します。
	2) 28 ページ 図4-1	「ジオパークが目指す姿のイメージ図」がやや分かりにくい。	・P44のイメージ図は伊豆地域の住民をはじめ、みんなでジオパーク活動に取り組むことを可視化し概念的に示しました。表記は可能な限り統一します。
	3) 30 ページ 本文	会員とは、何を指すか明記をしてほしい。	・会員や団体等と修正します。
	4) 38 ページ 本文	ジオガイドの皆さんとは、認定ジオガイドに限定しているのですか？	・認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さんに修正します。
	5) 40 ページ 行動計画	行動計画表のジオツアーの実施と環境省エコツーリズム推進基本構想に基づく事業の2025年度の数値目標について、観光入込人口を考慮した数値にすべきではないか？意欲は判るが数値が高すぎはしないか	・ご指摘のとおり、美しい伊豆創造センターが目標とする観光入込数との整合性を持たせ、目標設定数値を見直します。
	6) 52 ページ 本文	応援会員制度を実質的パートナーとしての位置付けるとあるが、パートナーシップ協定と会員とどこが違うのかが不明です。 他のジオパークでも、実施しており趣旨はわかりますが、できるだけわかりやすい表記にしてほしい。	・会員団体は、所定の会費を納めていただき総会での議決権をもちますが、応援会員はジオパーク活動を応援し様々な活動してくれる方々と位置付けています。
2	1) 41 ページ ～43 ページ 全般	<p>1) 狩野川台風を教訓とした防災のとりくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和33年9月26日夜、伊豆半島の東岸を北上した狩野川台風は、上流部に記録的な豪雨（湯ヶ島・最大時間雨量120mm、総雨量740mm）を降らせ、上流山地で土砂崩れがおきた。</li> <li>・流木を含んだ洪水は修善寺橋と修善寺中学を流し、大仁橋付近で水晶山に当たり熊坂方面に向かって大きな被害を与えた。</li> <li>・270人の尊い命が亡くなり、熊坂では2度と繰り返さないことが悲願です。</li> </ul> <p>(復興)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩野川は、大仁橋付近では洪水が水晶山に当たらないように狩野川の線形を変更し、川幅を2倍にして堤防を高くして、その上に国道136号を整備した。</li> <li>・熊坂の集落は、土地改良事業を実施し、集落は狩野川から離れた山裾に、狩野川の近くは水田地帯とした。</li> </ul> <p>(最近の動き)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆市は人口の増加を図るため、都市計画を変更して建築の制限を緩和して、狩野川近くでも今後、建築が行われるようになった。</li> <li>・また、近年の異常気象による全国各地で被害が起こり、国は「流域治水」の考えで取り組むこととした。</li> </ul> <p>(地域での防災のとりくみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊坂小学区地域づくり協議会は、「狩野川台風60年」を開催し、国と伊豆市と意見交換を行い、その内容は、以下のとおり、伊豆市の都市計画マスタープランに計画され、近く公表の予定。</li> <li>・「市、河川管理者、地域の協働により、国道136号沿道の都市的土地利用に対する防災性向上策の検討、洪水浸水想定区域における農地の保全と宅地化に対する水害対策の促進など、狩野川の防災性強化と沿川まちづくりを推進します。」</li> <li>・これに基づいて国道沿道の施設や農地の地権者と話し合いを進めることから始めます。</li> </ul> <p>上記の計画への反映をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に災害サイト等を活用した減災の取り組みは重要であると認識しています</li> <li>ご指摘をいただきました伊豆市内の取組事例は、狩野川のみならず伊豆半島の全域の河川で取り組むべき課題であると認識しておりますので、基本方針に反映させつつ、減災のための取り組みを行ってまいります。</li> <li>・今後も想定される河川氾濫等の災害から地域住民を守るため、沿岸部の津波対策等も含め、行動計画の災害サイトを活用した防災学習の推進の資料として活用させていただきます。</li> </ul>

番号	計画案該当ページ	いただいたご意見・ご提案	基本計画等への反映等についての考え方
3	活動全体の提案	<p>「イズ・キャン△」</p> <p>今、話題の漫画・アニメで「ゆるキャン△」は、山梨県身延町の女子高生のゆる〜いキャンプを楽しむ話ですが、かなりリアルで面白いと思います。キャンプ地が伊豆半島の回では、ただ伊豆の味や温泉を巡るだけではなく、伊豆のジオサイトをできるだけ見ようという目的も加えていました。感心です。家の近くには逢ヶ浜の放射摂理や竜宮窟がありますが、近くでおすすめのキャンプ場と聞かれると自信がありません。ジオサイトを巡って自然の中でキャンプを楽しめるのは、伊豆の大きな魅力だと思います。</p> <p>さらに、キャニオニングやシーカヤック、SUP のガイドツアーに参加すると満足度は高くなります。</p> <p>ジオサイト、キャンプ場、アクティビティ・ツアーを一体化したフリーペーパーをアウトドア用品店に置いたらどうでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメ「ゆるキャン△」では、伊豆半島ジオパークの代表的なサイト（見どころ）として「ジオポイント」として豊かな自然環境として魅力的に紹介されています。</li> <li>・ご提案をいただきましたジオサイトとアウトドアアクティビティとの連携による情報発信についても、現在海洋資源を活用したレジャー事業者との連携による取り組みのスキーム作りに取り組んでおりますので、ホームページ等の情報発信により充実してまいりたいと考えています。</li> </ul>
4	活動全体の提案	<p>メガソーラー問題への対応</p> <p>今、函南町軽井沢では東京ドーム 13 個分のメガソーラー計画があります。近くにはジオサイトである丹那断層公園、火雷神社があり、もしメガソーラーができたら丹那断層公園からメガソーラーが見え景観に問題があります。広大な森林が伐採されれば土砂崩れの心配があり火雷神社や丹那断層公園に被害が及ぶのがとても心配です。丹那の自然と命、このジオパークを守るために住民はメガソーラーを建てられないように一生懸命働きかけをしています。</p> <p>伊東市でもメガソーラー問題があります。伊豆半島の自然やジオパークを守るためにも伊豆半島ジオパーク推進協議会様もメガソーラーが建てられないように県や町、事業者働きかけをしてください。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆半島でメガソーラー計画が相次ぎ浮上しており、伊豆半島ジオパーク推進協議会としても、保全すべき大切な景観を「眺望サイト」と位置づけ、景観保全は次世代に残すべき大切な財産であるとの認識です。</li> <li>・地球環境規模での環境問題が叫ばれる中、自然エネルギー政策に反対するものではありませんが、あえて世界に誇れる貴重な景観遺産を阻害する計画については、景観に配慮した計画とするよう地元市町とも連携し取り組みたいと考えております。</li> </ul>
5	活動全体の提案	<p>人気童話とのコラボによるジオパークの情報発信について</p> <p>人気童話「クレヨン王国」のモチーフに伊豆半島のジオサイトが取り入れられている。コラボして何かやりたい。</p> <p>提案者は作者の家族からのご提案。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味深い提案だと考えています。「クレヨン王国」の内容を把握させていただいたうえで、どのようなことができるかを検討したいと思います。</li> <li>・新聞等の報道では、熱海市との連携のお話もあると承知しておりますので、熱海市域外にもかかわる広域で支援できる形を模索できればと考えております。</li> </ul>
6	活動全体の提案	<p>自然が残された天城山麓など、林道トレッキングを開発したらどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の保全と活用はジオパーク活動の柱です。林道の利用には伊豆森林管理署等の山林所有者、林道受益者の理解はもとより地域や構成市町のサポートが必須です。当面は、天城山に最も詳しい天城自然ガイドクラブに提案資料を見てもらい、自然保護への配慮や天城山麓を所有する森林管理署の了解を得ることが重要と考えております。</li> </ul>
7	1) 15 ページ 本文	<p>表記では、江川英龍が大砲製造を試みたが試験だけで終わってしまった印象を持ってしまいが、葦山反射炉の完成は、江川英龍死去後であるため、下記に修正願いたい。</p> <p>「江戸時代末期に大砲製造が行われ、現在もほぼ完全な形で残る・・・」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界文化遺産については、伊豆の国市の文化財課所管の施設ですので、ご指摘のとおり正確な表記に修正いたします。</li> </ul>
	2) 23 ページ 本文	<p>「世界遺産」の表記を以下の正確な表現に修正願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」構成資産：葦山反射炉</li> <li>・世界遺産に認定され・とあるが、世界遺産の場合は、「登録」が一般的に使用されていますので、登録表記に修正願います。</li> <li>・伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの文化サイトに指定の記述を下記に修正願います。</li> </ul> <p>「葦山反射炉は、2015 年（平成 27 年）に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として世界遺産に登録され、2020 年（令和 2 年）には、伊豆半島ジオパーク推進協議会が伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの文化サイトに指定しました。」</p>	

番号	計画案該当ページ	いただいたご意見・ご提案	基本計画等への反映等についての考え方
7	3) 53 ページ 行動計画表	<p>3)「葦山反射炉」との相互連携協定の締結と協定に基づく事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展に関する表現の統一をお願いします。また、企画展の実施回数重要ではないかと思うので回数表記は不要と思います。</li> <li>保全活動、啓発活動、教育活動を順番に行うとあるがこれでは各年度において注力していく事業を出していると思われます。</li> <li>協定の目的は継続した取り組みであることから、表現としては、保全・啓発・教育に係る連携活動として記載し、2022 年からの実施が適切ではないかと思えます。</li> <li>反射炉来館者数増を数値目標としているが、表記ではいつの時点と比較しての増かがわからない。また、各年度に記載の事業を実施したとしても、それが来館者数の増につながるかも不明です。</li> <li>このため、数値目標の設定としては、連携事業の数を目標としてはどうかと思う。葦山反射炉来館者数は目に見える数値として好指標かもしれないが、目標設定の本質からすると来館者数より適切であると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動計画については、ご指摘を踏まえ、相互連携協定の内容、伊豆の国市の総合計画を踏まえ、双方協議し実施可能な内容を盛り込むこととします。</li> <li>行動計画の個別表記及び実施年度についても協議の上見直すこととします</li> <li>行動計画の数値目標につきましては、目標設定と併せ伊豆の国市の定める上位計画及び関連計画等と整合性が取れるよう内容を見直します。</li> <li>連携協定による事業も継続性が重要ですので、ご指摘のとおり修正をします。</li> </ul>
8	1) 37 ページ 行動計画	<p>1) ジオ学習の行動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当協会は、域内の小中学校や特別支援学校から直接依頼を受けて出前講座（ジオ学習）を年間5～10回実施しています。</li> <li>教育活動の実施主体には”ジオパーク推進協議会”がありますが、その協議会の会員の当協会が各学校から直接依頼を受けて認定ジオガイドが行っている出前講座も教育活動と位置づけてほしいと思えます。</li> <li>例年の事業報告ではジオパーク推進協議会に依頼のあったものだけが対象で、各学校から直接依頼を受けたものは対象外とされています。域内でジオ学習を広めるためには、推進協だけでは限界があるので、その会員が行う教育活動も対象にしてほしいと思えます。</li> <li>なお、認定ジオガイドが行う出前講座に限るのが条件になると思えます。また、同じジオパーク推進協議会会員の”伊豆半島ジオガイド協会”は実施主体と特別に名前が記載されていますが、名前の記載がない他の会員も平等に実施主体と考えていただききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり、ジオパークの教育活動は、ジオガイド協会のみでの活動ではありません。</li> <li>認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さんによる各学校や地域での取り組みもジオ活動の重要な活動であると考えています。</li> <li>また、認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さんが各地区で独自に取り組んでいる出前講座も教育活動の事業として位置づけ、今後活動報告として反映させます。</li> </ul>
9	1) 12 ページ 本文	<p>“この天城山の山稜部のヒメシャラやブナの森は国立公園の特別保護地区に指定されています。” の表記ですがブナを主体とした森であることから、「ブナやヒメシャラの森は」或いは、「ブナ林は、ブナの森は」の方が良いと思えます。</p> <p>“氷河期後の気温上昇によって標高 1000m前後の天城山や函南の森に追いやられ、...” とありますが、ブナがみられるのは、函南原生林では標高 650m以上、天城山では標高 700m以上です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値等や確認のご指摘のあった内容につきましては、再度確認し正しい数値及び表記等に修正をいたします。</li> <li>標記の内容につきましても、いずれも代表的なサイトについての記述へのご指摘ですので、伊豆半島ジオパークの魅力をわかりやすく理解していただける記述に見直すこととします。</li> </ul>
	2) 24 ページ 本文	<p>“この水は清廉でかつ 15℃前後の一定の温度であることが求められます。” とありますが、水温 13℃前後と聞いていますので確認願います。</p>	
	3) 25 ページ 本文	<p>“おおよそ標高 1000m以上にみられる。...” とありますが、天城山ではおおよそ 700m以上に見られます。</p> <p>“ブナのほかに、ヒメシャラやアマギシクナゲも自生しています。” の表記ですが、「ブナのほかに、アマギシクナゲやアマギツツジも自生しています。」の方が良いのではないのでしょうか。アマギシクナゲとアマギツツジは天城を代表する花木であり、天城山だけでみられる固有種です。</p> <p>“林野庁のブナ群落保護林にも指定されています。”とありますが、現在は「八丁池・皮子平生物群集保護林（636.75ha）」に改編されています。範囲は八丁池一帯から小岳までの山稜部です。</p>	
	4) 25 ページ 図 3-9	<p>写真の中で愛鷹山の右側に丹沢山地と記載されていますが、三国山稜と言われている所だと思います。丹沢山地は、箱根連山の後方になるのではないのでしょうか。確認をお願いします。</p>	